

いっしょに NEWS

vol.3
January 25 2015



●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<http://www.hino2.tokyo/>



Merry Christmas
&
Happy New Year

迎春、みんなに笑顔

ボーイスカウト日野2団 スカウト諸君、
明けましておめでとうございます。

今年も冒険的で楽しい活動をしよう。

今までの活動から学んだその技能・知識
に、新たな体験を積み重ね、楽しく笑顔
の絶えないスカウティングができるよう
に、今年も活動に参加してもらいたい
と思います。

新しい年を迎え、今年は“あんなことを
したい”“あなりたい”“こんなことを
したい”“こうなりたい”と思いませんか。

もし思ったのなら、その思いを実現する
ために何をすべきか考えてみくださ

い、それが目標となりその目標に向かっ
て君たちは頑張れると思います。
君たちが目標に近づくために日野2団の
恵まれた自然環境のなか、野外活動を通
して精神力・勇気・体力・知識・技術・思い
やり・協調力をつけ、ボーイスカウト活動
で仲間と共に成し遂げる、成し遂げたこ
とが、きっと役にたつと思います。

今年1年が君たちにとって素晴らしい年
であることを願っています。

弥栄

今年は、日本の山口県で4年に1度の世
界ジャンボリーが開催されます。

世界中のボーイスカウトの代表約3万人
が参加予定です、
日野2団からは代表として、君たちの仲間
4名が参加します。

日野2団で活動している君たちは、今後
開催される日本ジャンボリー・世界ジャン
ボリーに参加できる機会があると思
います、その時はスカウティングを通して
学んだことを発揮し、多くの友達を作っ
てください。

平成27年1月

ボーイスカウト日野第2団
団委員長 榎本哲朗

月の輪訓練報告

2014年9月

日野2団では、カブ隊からボーイ隊への上進前の事前訓練として月の輪訓練を行っています。カブ隊からボーイ隊へ上進するとより楽しく、より高度な活動を行う事ができます。そして、キャンプも民宿やバンガローに泊まる舎営からテントを使用する野営へと変化します。野営では、スカウト自身でテントを張る、水を汲み、火を焚き、調理し、生活をしながらはなりません。そこで、月の輪訓練ではリーダーの指導のもとで野営を行い、ボーイ隊への上進に備えることを目的としています。

今回の月の輪訓練は、以下の日程で行いました。
 9月7日 テント、フライの張りかた、たたみ方
 9月14日～9月15日 1泊キャンプ
 9月20日～9月21日 1泊キャンプ

1泊キャンプでは、リーダーの指導の下でキャンプを行い、テントサイト、設営、薪拾い、焚き火、調理、撤営について学び、夜は焚き火を囲みながら「おきて」と「ちかい」についての話や、ボーイ隊での活動についての話を聞き上進に備えました。



今回の月の輪訓練の参加スカウトは2名とかなり少ない人数でした。そのため、キャンプでは、作業量が多く大変だったと思います。しかしながら、2人は協力し、挫けることなくすべての活動に参加し、ボーイ隊の初級スカウトとしての実力があることを証明しました。月の輪訓練を終えた2人のスカウトが日野2団を大いに盛り上げてくれると期待しています。

最後に、月の輪訓練を行うにあたり、大竹団委員長さんをはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

(カブ隊 瀨崎雄太)



2014年上進式より

地区ラリー

2014年11月9日

11月9日(日)、今にも降り出しそうな曇天の下、集合場所であるJR西立川駅に続々とスカウトたちが集まってきました。今日は昭和記念公園で行われる地区ラリーの日。

ちょっと雨が降り始めましたが、これ以上天気は崩れないことを祈りつつ入園、各隊に分かれて会場に向かいます。途中、昭和の名車を展示している脇を通ったり、地球誕生の足跡を辿ったりして、会場に着くころは雨もあがり、みんなテンションはMax! 我先にアトラクションコーナーに向かいます。

手を使わずに足だけで風船を箱に入れる「空」コーナーやみんなで協力して地球型風船を運ぶ「地球」コーナーなど合計7つのアトラクション



を行い合計点数を競います。

みんな「負けず嫌い」の魂に火がつき、少しでも高い点数を目指して真剣にチャレンジしました。

昼食の後は、団対抗の大玉ころがし。ビーバー、カブ、ボーイの力をあわせ、トーナメント方式で戦っていきます。日野2団は順調に勝ち進み準決勝進出! 白熱の準決勝戦は僅差で敗れましたが堂々のベスト4。団結力の強さを見せつけました。

大玉ころがしの後は閉会式。みんなの思いが天に届いたのかお天気も何とかもちこたえ、無事今年の地区ラリーも終了したのでした。



子供のミサ (クリスマス)

2014年12月7日

2014年12月7日に日曜学校主催の子供のミサが行われました。ボーイスカウトもガールスカウトも参加して皆でクリスマスについて考える日でした。お説教の中で神父様からは「クリスマスはサンタクロースの誕生日かな?」との質問がありましたね。皆間違わないでね。「クリスマスはイエス様の誕生日です。神様が私たちと一緒に居て下さる為にイエス様はお生まれになりました」。また、日曜学校のリーダー達が生誕劇をしてくだ

さいました。楽しい劇でしたね。

さて、この日はカブスカウトの宮君が、甲野リーダと一緒に侍者奉仕をしてくれました。入祭の前は少し緊張しているようですね。



共同祈願ではボーイスカウトのスキーキャンプが楽しく安全に行えるようにお皆でお祈りしましたね。

そして、奉納祈願から拝領まで間、子供たちが祭壇が良く見えるように祭壇の周りに集まりました。そして、平和の挨拶では鈴が鳴るまで握手を沢山の友達や教会の方々もしましたね。みんな家族ですものね。

主の祈りの「み国」はここに来ています。と感じたミサでした。



BS・GS 合同クリスマス会

2014年12月21日

2014年12月21日(日)に例年通りボーイスカウト・ガールスカウト合同クリスマス会が行われました。先ずはその前の週から準備していたクリスマスツリーに飾り付けです。



そして、今度はゲームです。力を合わせて、プレゼント運びます。上手く運べたかな!? チームワークは良かったかな。苦戦していますね。



そして今度は裏山で次なるゲームです。みんな集まれ、元気ですか——!!



まだあります。ゲームで勝った順序にケーキの材料を支給されます。そして力を合わせて、皆のアイデアで美味しくて綺麗なケーキ作りです。

そして、コンテスト。

美味しそうな、色とりどりのデコレーション。そして、お昼ご飯のデザートでいただきます。完食ですね。

活動 かつどうだより 便り



楽しいゲームと美味しいお昼ご飯も終わりました。

クリスマス会のメインイベントです。キャンドルサービスと神父様のお話がありました。「この喜びを一人ではなくて家族や友達に伝えようね。」

子供たちの献金は山谷で家も家族もない方々に奉仕している「山友会」に送金しました。困っている人たちも、少しでも暖かくなってほしいね。とお祈りしましょう。



新年お餅つき会

2015年1月11日

1月11日(日)新年恒例のボーイスカウト、ガールスカウト合同のお餅つき会が開かれました。団委員の方々は前日よりかまどを作り、当日も朝早くから準備をしてくれました。



今年も横田基地のガールスカウトの皆さんも参加していただき、スカウト達はグループに分かれて遊び、一緒に美味しいお餅を沢山食べて賑やかなひとときを過ごし、交流を深めることができました。



「横田スカウトのみなさんも一緒におもちつき」



「おいしいお餅は9種類。ガール保護者の方が準備してくれました。一番人気はカラムーチョ味」



「みんなで行うゲームも盛り上がりました。なわとびは気持ちをはとつに跳べたかな?」



「最後はともだちの輪でみんなとつながりました」

特集

ボーイ隊 スキーキャンプ

スキーキャンプ
ボーイ隊長 田中輝

ボーイ隊のスキーキャンプは毎年年末に長野県乗鞍高原で行われています。

今回は数年ぶりに2泊3日から3泊4日に戻して行われました。

なんとこのスキーキャンプは25年以上も続いているとても伝統のある??キャンプです!!

ただキャンプと言っても外でテントを張って寝泊まりはさすがにしません!!では、なぜキャンプと名前がついているのか?と思われる方もいらっしゃるかと思います。スキーキャンプでは主に毎回2つの目的をもっています。

1つ目はスキー技能の向上です。

このキャンプでは日中はすべてスキー訓練になります。期間中はずっと滑っているわけですからスカウトたちも上達がとても早いです。毎年ボーイ隊に入隊してくるスカウトの中にはスキーをしたこともないスカウトがいます。そういったスカウトがこの期間中でスキー場の上から下まで滑ってこれくらいまで成長します。これは長年培ってきたスキーキャンプの中でスキーを好きになり、向上心が生まれ、大人になりスキー指導ができるくらいまでやり続けた指導者がいることも1つの理由かと思えます。中には指導免許を取られた方、検定を受けた方も。こんな、思いのある指導者たちがスカウトに指導をしています。

2つ目は生活面の向上です。

ボーイ隊のキャンプは基本野外でのキャンプ(テントを張って)ですがスキーキャンプではこんなことは出来ません。そこで、一般のお客さまもいらっしゃる、食事も出てくる、寝る布団もあるような宿での生活にきっちりとルールを守って生活をできるよう指導しています。このような環境でできることに感謝の気持ちを持ち、他人に迷惑をかけないようスカウトが成長できるよう。宿での生活でも目的をもってキャンプをしています。

この大きな2つの目的がキャンプという名前で実施している理由です。

朝起きて体操し、食事をとり、夕方まで一杯すべり、温泉に入って夜はいろんなプログラムを行います。一日があっという間に過ぎていきますが今年もいろんな思い出

ができました。

初めて滑ったスカウトが今年も無事に滑れるようになったこと

温泉でスカウトと一緒に入ったこと

夜、みんなでこの一年を振り返りみんなですべて祈ったこと

このようなキャンプが今後も続くために私たち指導者も「誓いとおきて」にもとづいて頑張っていきたいと思います。

スキーキャンプ
ウルフ班 吉田蓮

2014年(平成26年)12月27日から12月30日までの4日間でスキーキャンプをボーイスカウトの活動で実施しました。

自分はすでにスキーキャンプに行った回数が2回だったのでスキーに少しだけなれていました。

今回のスキーキャンプのメンバーは、ウルフ班4名、ホワイトベアー班6名、上班3名とリーダー13名で合計26名(最大)で実施しました。

バスの中ではとても静かなくヒマでヒマで仕方がなかったので、バスの自分に席で寝ました。

そしてついた場所は長野県南安曇村乗鞍高原にある、「こだま」という旅館にとまりました。

たくさんすべれてものすごく楽しかったです。

スキーキャンプの思い出
ウルフ班 伊藤暖人

2014年12月27日から30日の3泊4日のスキーキャンプに参加して、思い出に残ったことが二つあります。

一つ目は、スキーです。スキーは一昨年のスキーキャンプに参加してから、一度もしていなかったの、滑ることができるか心配でしたが、どうにか滑ることができました。急斜面でのターンなど、前に参加したスキーキャンプではできなかったこともできるようになりました。また、キャンプ中は二十九回転びながらもほぼけが無くスキーを行うことができ、目標である『スキーを安全で楽しく行う』ことが達成できたと思います。

二つ目は、宿での生活についてです。いつもの活動にはない宿泊であり、また次長になって余り月日がなかったの、とまどうことは多々ありました。しかし、集合時間等に遅れてしまったり、少し宿のルール(スリッパをはいたらそろえる、さわがない等)をまもれなかった程度で、大きな事件などが起きなかったの良かったと思います。また、班員の間でけんかやいじめなどもなく、仲良くスキーキャンプを楽しめたと思います。

スキーキャンプは、みんなで楽しく過ごせ、スキーの技術も少しは向上したと思っていますので良かったです。キャンプにはいくつか反省点があったので、その反省点を今後の活動やつぎに行くかも知れないスキーキャンプで生かしていきたいと思えます。



スキーキャンプの思い出 白熊班 須崎公太郎

今年のスキーキャンプは班長欠席だったので、代理班長として臨んだ。初級スカウトの世話、班員への指示など責任がたくさんあるため少し不安だった。

一日目、宿に着くと宿舎の方がすでに出ていて、すごいと思った。それから、スキー講習。まず、初級スカウトにスキーウェアの着る順番から教えた。スキー場へ行って、板を全員がはき終わるまで見た。講習中はレベル別に分かれて練習した。一日目だからだと思うが、上半身が下半身について行かず、とても困った。

二日目、今日も天候にめぐまれ、気持ちよく滑ることができた。だんだんパラレルで滑れていくから、とても楽しかった。宿では、時間には注意するように言って、消灯前に寝た。

三日目の朝のセレモニーで、優秀班に選ばれた。とても嬉しかった。けれど、たくさん雪が降っていた。そのため、あまり良く滑れなかった。三日目は夜プロだったり、プログラム内容がとても面白かった。

最優秀班は十分狙えると思っていた。しかし、最終日の朝食までにベレー帽が一つ見つからなかったし、荷物がまとめられていなかったスカウトがいたため、やばいと思った。点検時間を五分延長してもらい、その時間の三分前に報告へ向かった。少し喜んだ。点検がウルフ班よりも早く出来ていた。その後も順調に進んで、いよいよ賞がもらえる時、とても緊張した。僕は最優秀スカウトに選ばれたので驚いた。さらに優秀班にも選ばれた。この二つの賞はとても嬉しかった。

今年のスキーキャンプはよい思い出だらけで終わった。



スキーキャンプに行って 白熊班 熊田舜士

今回のスキーキャンプで、私は大きく成長できたように思う。なぜならば前回のス

キーキャンプに比べて、より急な坂でもより上手くすべれることができるようになったからだ。

去年は受験により参加することができなかったため、二年ぶりのスキーだったが、思いのほか早くカンをとりもどすことができたのでよかった。

今回のキャンプの目標として挙げた、スキーキャンプを通して成長するということ達成することができ、非常にうれしく思う。今回のスキーキャンプではスキーの技術だけではなく、スカウトとしての精神の向上も目標としていた。前者は達成できたが、後者は反省すべき点もあったと思う。



もう少しいたかった 白熊班 森山裕貴

車を出たら、外には一面の銀世界が広がっていた。僕は27日に部活の演奏があったため、みんなと一緒にスキーに行くことができなかった。

しかし、翌日辻隊長の車に乗せてもらえることになったので、スキーに行けた。辻隊長に感謝だ。でも前日の夕食の馬刺しを食べられなかったのがとてもつらく悲しい。まあ28日の夕食はとてもおいしかったけど。

29日、二年ぶりのスキーだったが、意外と滑れてよかった。スキーを楽しんでいくうちに中級くらいの所は滑れるようになった。転んだ回数は12回。なかにはとてもひどい転び方をしたときもある。そのとき、近くにいた人に笑われて恥ずかしかった。そうして、宿に帰ってから最初に最後の温泉に入った。体を洗ってゆっくりとお湯につかった。温泉っていうものはやっぱり気持ちがとても良い。それからバカな自分は寒い中露天風呂に入った。露天風呂に入っているみんなが雪で遊ぶので、温泉のお湯が冷たくなってしまった。自分もやっていたのだが、体がすっかり冷えてしまった。30日のスキー。午前しか滑れないからお

もいっきり楽しみたかった。そんな僕はスキーが得意でもないのに急斜面に挑戦してみた。前の人の通った跡を滑れば派手に転ぶことはなかった。とても面白いし楽しかった。

宿に帰り、セレモニーをしてバスに乗ってスカウトハウスに向かった。できるものならもう少しスキー場にいたかった。スキーが上手でなくても仲間がいれば楽しさは何倍にもものだから。



スキーキャンプ ホワイトベアー班 久野和哉

12月27日から12月30日まで3泊4日のスキーキャンプへ行きました。

朝六時みんながバスにのりこみました。そしてすぐにスキーへ行きました。最初は初級でもくせんして、すべてで転びそうになることがとても多かったです。二時間くらいつと、中級でくせんするくらいまで上手になっていました。そして一日目が終わりました。

二日目、初級から中級コースをすべりました。少し恐かったがすぐなれた。その日の午後、かもしかりフトにのって中級から上級コースへいきました。板がすべてで転びかけましたが平気でした。だんだん足が痛くなってきて少し横になりました。最後は直線でまっすぐおりました。少し恐かったけれども、おちついてゆっくりとおりました。二日目が終わりました。

三日目、かもしかりフトにのり、まったくせんした上の中級から上級へいきました。とてもきんちょうしていましたが、そのうちおちついてきたので、ふつうの人よりおそくゆっくり安全運転でいきました。そして二回目ということもありますが、恐さがなくなり自分のペースでおりました。

少し休んで元気になりまたすべりましたが、つかれがのこっていたのか、あまりスピードはだまませんでした。そしてその日の午後、東京へ帰りました。

スキーキャンプの感想 シロクマ班 石塚諭吉

ぼくはスキーキャンプで思うことがあります。

一つ目はスキーがあんがいむずかしかったことです。

ぼくはスキーはかんたんだと思っていました。でもとてもむずかしくて、さいしょはくせんしました。

でも、いごにはうまくすべれるようになり楽しかったし、うれしかったです。

二つ目はおふろでの遊びです。

ぼくは二日目から外にあるろてんぶろにいきました。みんなでまわりにあるゆきをつかって、いろいろ遊びをしました。

とちゅう田中リーダーやらがきてゆきをたくさんかぶられました。

とても冷たかったけどたのしかったです。

三つ目は夜プロです。夜プロでは動きだけでなをするかを当てるというゲームとたたいてかぶってジャンケンポンをしました。

一つ目のゲームはとてもむずかしくて、ぼくも二回目にあてるほうについてやってみました。だけど全然わかりませんでした。でも答えをいわれるとあんがい「あー」とあんがいわかるのでおくが深いゲームでもあると思いました。

二つ目のゲームは、とても道具をまちがえてしまったり、じゃんけんには勝ったのにまもってしまったりの失敗をなんどもしたけっ果負けてしまいました。

とてもくやしかったです。

はじめてのスキーできんちょうしたけど楽しいスキーキャンプだったと思いました。

最初にすべった時よりもうまくすべれるようになってうれしかったです。またスキーキャンプに行きたいです。



スキーキャンプに行って シロクマ班 杉崎天

ぼくは初日ひさしぶりにスキーキャンプに行って、少しこわかったけど少しずつカンを戻して行って、ここまでうまくできたことがとても嬉しいです。

最初、初級でもよろよろしていたけど、初級はもちろん、中級でもすいすいすべれるようになった。そして、二十九日に、ぼくから見たらめっちゃくちゃ高いところにある「鳥おね」という所に行きました。ここでは、3回以上転んでいたけど、だんだん、少しずつ慣れてきて、上手にすべれるようになっていきました。その「鳥おね」をすべり終わったときの達成感がすごくて、とても嬉しくて、こんな自分でもここをすべれることを知って、自信がついてきました。

そして、最終日、もう最終日だと思うと胸がときどきして、最終日にはどんなことをするのかと思いながら外にでる準備をして外にでてみると、そこは一面の雪げしきで風も少し強く少しがっかりしました。でも、スキーをできると知ってほっとしました。

ぼくたちが、とまらせていただいた場所のお風呂は、ろてん風呂がありました。そのろてん風呂の周りには雪がつまえていて、リーダーや隊長と風呂に入りながら遊んだり雪にとびこんだりして、とてもおもしろかったです。

もしも、今年もスキーキャンプに行けたらぜったいに行きたいです。



スキーキャンプ ウルフ班 伊藤正太郎

2014年12月27日から30日の間、ボーイスカウト日野二団はスキーキャンプをしに長野県松本市乗鞍高原に来ました。

で、初日の朝は5:10に起床なのでとてもねむかったです。(いつもの起床は目が覚めた時でも6時くらいだからだと自分でも思っている。)

来た時は、少々おくれ気味だったけれど地味にセレモニーやって(国旗けいようとかまでしなかったから)、バスでカトリック教会から出発しました。と中で境川PEと中央道原PEで休けいして、こらから3泊4日泊まる「こだまそう」に着きました。

「こだまそう」に着いた後は開啓式をやった部屋に入って着替えてスキー合わせをして昼食を食べました。昼食が終わったら運び込み、スキー場に出発しました。

スキー場はゲレンデが真っ白の銀世界に、びっくりしました。

他のみんなはもうスキーは経けんしてたから、もう先にすべりにいってたけど、自分は経けんがないから片足ずつの練習から諭吉くんと始めた。

なれてきたら「レストランやまぼうし」あたりから下りてみてみました。下まで下りたら「やまぼうしリフト」で上に行った。そこから「ヨーデルコース」を何度かやってから最後は「すずらんコース」を使って下に出て帰りました。(こだまに)

初日のスキーは午後の一回だけでした。

二日目は生活かん境か、かぜのままスキーやったかのどちらかか風邪にやられました。

三日目のスキーは特にキツくて、やりたて二日なのに「中級者専用」をやることになった。下の「レストラン三本滝」でのおかしがよかった。

四日目のスキーは一、三日目のヘッドスライディング集ができるような、こけっぶりうそみたいになったのにびっくりした。



貴重な体験 ウルフ班 池田侑登

2014年も終わりに近づいてきた12月末、スキーキャンプが始まりました。

スキーキャンプは1昨年に次いで2回目で2年ぶりにスキーをすることになりました。

このスキーキャンプは野営ではなく、通常のキャンプとは目的が異なります。

夏キャンプを代表とするキャンプの主な技術面での目的は、野営における技術の向上です。しかし、スキーキャンプは舎営の為その分、生活指導に重きを置かれることとなります。

無論、スキー技術の習得という部分もあります。2年ぶりのスキーでは、みんなの上達の速さに置いていかれそうになりながらも、無事4日間の講習を終えることができました。

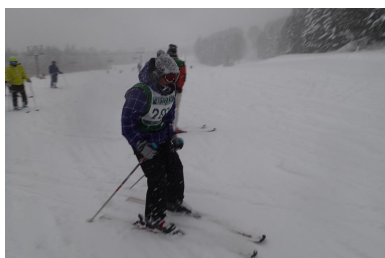
スキーに慣れるために、易しいコースを滑った初日に始まり、足を上げる等の練習で転ぶ回数が一気に増えた2日目、とにかく量を滑ろうと1日中滑っていた3日目、最終日と気合を入れて(?)滑った4日目。4日間を通してスキー技術はかなり上達したと自分でも実感しています。スキーを指導して下さった方々本当に有難うございました。そして、今回(に限らず)スキーキャンプの大きな目的でもある生活面においても、4日間で多くのことを学ぶことができましたと思います。

ボーイスカウトないで2学年の下級生をもつ立場から、どのように班をまとめられるか、どうしたら班全体がよくなるのかを真剣に考えさせられました。

また当番班の仕事などは4人しかいない中でこなさなければならず、班員の素早い行動が求められました。

このスキーキャンプでは2級に上進できたことも含め、とても意義のある貴重なものになったと確信しています。今後はこの4日間で学んだことを活かして2級として下級生や班をまとめていきたいと思えます。

指導者の方々、貴重な体験を有難うございました。



上班としてのスキーキャンプ 上級班長 石塚大和

僕は上班としてこのキャンプに参加しました。このキャンプに来る前、正直ちょっと楽しそうだなと思っていました。ですがけっこうやるべきことがたくさんあって大変でした。

具体例をいくつか挙げると、班の動きを班長以上に見ることが大変でした。誰かが寝ころんでサボっていたり、やるべきことがまだあるのにトランプを持ってきて遊んでいたりする姿を見たりしたときは、どう指示していいのかがよくわかりませんでした。

もう一つ挙げるとスキー中です。上班としてスキーがはじめてのスカウトをサポートしてあげていいのか、それともスキーがうまいスカウトたちと楽しく滑ったほうがいいのか、など今回のスキーキャンプでは悩みどころがたくさんありました。

スキーは自分で成長したなぁと感じました。ハの字でしか曲がれなかった僕が足をそろえて滑れるようになりました。それどころか急斜面を滑りながら楽しめるようになりました。あと、モサリが楽しかったです。来年もスキーに来たいです。



上班の責任 上級班長 上田晟生

僕は今回のスキーキャンプに上級班長として参加させていただきました。班長の上に立って班を見守りサポートするという立場につくことにはあまり自信がありませんでしたが、今になると自分も仕事を全うできたのではないかと思える気がします。

まず、スキーキャンプに来て気がついたことは、上班は班長ほど忙しくはないということです。班長は班員全員の指揮をとり、さらに上班やリーダーの言うことを実行しなくてはなりません。

しかし、上班はリーダーに言われたことを班長に伝達し、見守るというだけだったので、自分は班長の仕事を増やしているだけな気がして少しがっかりしました。

でも、後からわかったことが1つあります。それは班長や次長のミスが自分の責任、つまり上班の責任となることです。

時間に遅れた時も僕が急がさなかったせいで、電気がつけっ放しの時も僕が確認しなかったせいなのです。

そこから僕は上に立つ人の苦勞を少しだけ知れた気がします。



3回目のスキーキャンプ 上級班長 築城希

僕は初めて上班として参加しました。僕は上班としては初心者で何をしていたかわからなかった。普通、班に外れて活動してある意味楽だけど、リーダーから来た命令などが班長、班員にその命令が伝わった感じがうまく伝わっていないと上班に責任がまわってくるので大変なんだと、このスキーキャンプで分かりました。またこのキャンプでカブ隊から上進してきた初級スカウトもいて指示するのも大変でした。

ゲレンデでは初級者、中級者、上級者に分かれました。

僕は上級者の所で滑りました。上級者は夢の平クワッドリフト、カモシカリフト、鳥居尾根クワッドリフトを主に乗りました。1日目、2日目は頂上から下まで雪が降っていませんでしたので楽に下れましたが、3日目、4日目は雪が夜から降っていてふかふかでしたが、転びやすく転んでいる人が何人もいました。

またリフトに乗ると正面から槍のように降ってきて顔が痛かったです。

頂上に行くとも目の前は見えなくてまさにホワイトアウト状態で滑るとさらに転びやすく、最悪のコンディションでした。

でも今回のスキーキャンプでは良い経験になり、たくさんの思い出を作ることができました。



スキーキャンプに参加して 高木健次

昨年私は末二年ぶりにボーイ隊のスキーキャンプに参加することができました。このキャンプでの私にとっての一番の収穫は、参加したスカウトたちの顔と名前がようやく一致したことだ。ただしこの記憶が夏まで持つかはあやしい。閉営式の時、宿のご主人が挨拶され「毎年、皆さんの規律に感心します」とおっしゃった。これはただのお世辞ではないと言ってよいと思う。なぜなら私自身スカウトのキャンプに参

加する度に同じ感想を抱くからだ。今年のスキーキャンプの参加者の多くは、私が高幡教会に来て初めて参加したカブ隊の夏キャンプにいた子たちだ。その時、なんと言ったらよいか、かなり強い印象を受けた子もいたわけだが、それから数年、もちろん人がいつまでも同じであるはずはないが、規律の面でも互いの友情の面でもずいぶんと成長したように見受けられた。これは素晴らしいリーダーたちの指導と、スカウト自身が活動に継続して参加してきたことによって育まれてきた実りなのだろう。スカウトの三つのち

かいは「徳を養います」という言葉で終わる。キリスト教では、徳とは善を行い悪を避ける習慣のことを言う。習慣なので、単発の行いではなく、意識して時に苦勞して何度も何度も行うことでだんだん身につけて、いつでも自然にできるようになってくると説明される。この点スカウトたちが変わっていく様子は、彼らの中に徳が養われて言っている証しと言ってもよいのではないだろうか。スカウトたちを見て感心してばかりいないで、私自身も徳を養わなければとの反省をしつつ、新しい年のご挨拶を申し上げます。